



Überarbeitung 2017

UNIcert® Stufenbeschreibung Japanisch

UNIcert®-Stufen Basis, I und II

UNIcert®-Basis /ユニサート入門過程 – 全学部共通外国語

この外国語証明書は大学におけるユニサート入門過程（レベル I 前のレベル）の講義時間約 XXX（約 XXX 作業量）の語学学習を修了したことを証明するものである。この証明書の保持者は、成績に関係なく、日常の場面において簡単に直接的な情報交換ができる基礎知識を有する。

この証明書の保持者は、一般的、または大学での学業をテーマとする文やそういった場面で頻繁に使われる表現の聞き取りや読解ができる。また自分に関する特定のテーマについて（例えば出身、教育や大学での学業、家族や身近な話題）簡単な表現で説明したり情報提供したりできる。この範囲において最初の社会文化的な知識を得、基礎的な異文化学習を修めた。

この証明書は、語学センター、語学研究所および外国語研究所による共同研究会（AKS）によってユニサート入門過程であること（ユニサート制度による I から IV までの 4 レベルの前レベル）を認証するものである。このユニサート入門過程の学習基準は欧州評議会が設定したヨーロッパ言語共通参照枠（CEFR）の A2 レベル「ウェイステージ Waystage」に準じる。

UNIcert®-Stufe I / レベル I – 全学部共通外国語

この外国語証明書は大学におけるユニサート・レベル I、講義時間約 XXX（約 XXX 作業量）の語学学習を修了したことを証明するものである。この証明書の保持者は、成績に関係なく、一般的な言語場面、職場および大学での学業に関する場面に対応できる基礎的な外国語能力を有する。

この証明書の保持者は、聴解および読解において一般および学業をめぐる日常のテーマについての情報の概要を把握する語学能力を備える。また一般的な興味、自分の日常生活や学業に関するテーマについて基礎的な表現、文法構造、簡単な語彙を用いて、筆記、および口頭で表現でき、さらに情報交換ができる。また特定の異文化の実状を把握している。

Niveaustufenbeschreibung Japanisch (überarbeitet im Sommer 2017)

この証明書は語学センター、語学研究所および外国語研究所による共同研究会（AKS）によってユニサート証明書・レベルⅠであること（ユニサートⅠからⅣまでの4レベル、および入門過程を含む）を認証するものである。ユニサート・レベルⅠの学習基準は欧州評議会が設定したヨーロッパ言語共通参照枠（CEFR）のB1レベル「スレッシュヨルド Threshold」に準じる。

UNlcert®-Stufe II / レベルⅡ - 全学部共通外国語

この外国語証明書は大学におけるユニサート・レベルⅡ、講義時間 XXX（約 XXX 作業量）の語学学習を修了したことを証明するものである。この証明書の保持者は、成績に関係なく、その言語が話される国での学業および職場における基礎的な言語的要求を満たしている。（最低限の対応能力レベル）

この証明書の保持者は、一般的、かつテーマに関する限定的な語彙を用いて書かれた日常言語的、職業および学業に関する文章（例えば、スピーチ、講演、および中級難易度の長いテキストなど）の概要を把握する語学能力を備える。また、筆記、および口頭において文化的、専門的テーマに関する多くの適切な表現ができ、会話にも積極的に加わり、ある程度の文章構造と専門用語を使いこなせる。この範囲において社会文化的な知識、異文化能力を修得している。

この証明書は語学センター、語学研究所および外国語研究所による共同研究会（AKS）によってユニサート証明書・レベルⅡであること（ユニサートⅠからⅣまでの4レベル、および入門過程を含む）を認証するものである。ユニサート・レベルⅡの学習基準は欧州評議会が設定したヨーロッパ言語共通参照枠（CEFR）のB2レベル「ヴァンテージ Vantage」に準じる。